

令和元年度
特別展

絵のみち・祈りのこころ

日本画家

後藤純男 の全貌

令和元年

令和2年

11月2日(土) ~ 1月19日(日)

〔開館時間〕 9時 ~ 16時30分

〔休館日〕 月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日 ~ 1月4日)

〔入場料〕 一般 1000円(800円)、高校・大学生 500円(400円)

※()内は20名以上の団体料金(中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料)

※11月3日はどなた様も無料



《春映法隆寺》1980年、紙本彩色、181.0×363.6cm、愛知県美術館蔵

千葉県立美術館

主催：千葉県立美術館
特別協力：後藤純男美術館

後援：流山市、野田市、野田市教育委員会、埼玉県北葛飾郡松伏町、北海道空知郡上富良野町、NHK千葉放送局、千葉テレビ放送、ベイエフエム、千葉県ケーブルテレビ協議会、千葉日報社、朝日新聞社千葉総局、産経新聞社千葉総局、東京新聞千葉支局、日本経済新聞社千葉支局、毎日新聞千葉支局、読売新聞千葉支局(順不同)

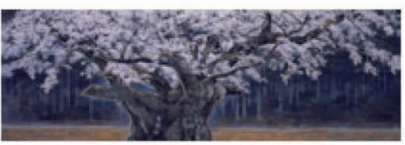
絵のみち・祈りのこころ

後藤純男は昭和5(1930)年、千葉県東葛飾郡木間ヶ瀬村(現在の野田市)の真言宗の仏門に生まれます。僧侶となる修業を受けながら絵を描き、22歳の時に院展初入選を機に「仏道を捨て、絵の道を選んだ」画家です。院展では日本美術院賞・大観賞、内閣総理大臣賞等を受賞するほか、日本芸術院賞・恩賜賞など数々の荣誉ある賞を受賞し、平成28(2016)年に逝去してなお、日本画壇に比類ない存在感を放っています。

郷里の慣れ親しんだ田園風景に始まり、各地を取材しながら風景を描き、厳しい自然の姿を見せる北海道の滝の連作、深い情趣を湛える季節の移ろいを捉えた法隆寺などの大和古寺のシリーズ、中国の雄大な山河や穏やかな農村風景など、さまざまにテーマを拓げます。画家の鋭い感性は、自然の畏怖すべき大きさ、重ねられてきた歴史の壮かさ、またその中の人々の営みを捉え、作品には、宗教的荘厳さが漂います。そのスケール、重厚さに見る者は圧倒され、画家の深い祈りを感じます。

本展は、北海道空知郡上富良野町にある後藤純男美術館の全面協力のもとで、初期から晩年までの作品60点余と、スケッチや写真など関係資料で構成します。奈良・長谷寺に奉納された襖絵を期間限定で特別展示するとともに、東京・高幡不動尊金剛寺の襖絵も展示し、画家の画業を過去最大規模で紹介します。

後藤純男×日野原重明
聖路加国際病院名誉院長の日野原重明は後藤の主治医を務めたばかりでなく、互いに深い交流を持ちました。本展では、後藤の日本画に着想を得た日野原先生の書を展示します。2人の文化人の力強い交感を堪能ください。



- 1 《滄想》1969年、紙本彩色、217.0×155.5cm
- 2 《夏冬山水》より《冬山水》1993年、紙本彩色、213.0×582.0cm、長谷寺蔵
- 3 《江南水路の朝》1986年、紙本彩色、186.5×369.0cm、後藤純男美術館蔵
- 4 《淡墨楼》1987年、紙本彩色、182.0×546.2cm、刈谷市美術館蔵
- 5 《桂林山水朝陽》1999年、紙本彩色、191.0×506.0cm、高幡不動尊金剛寺蔵
- 6 《雷鳴》1982年、紙本彩色、257.6×181.8cm、後藤純男美術館蔵
- 7 日野原重明《華やぐ金閣寺》後藤純男美術館蔵
- 8 《鹿苑寺庭園》1990年、紙本彩色、150.0×360.0cm、後藤純男美術館蔵

12月10日~1月19日 期間限定特別展示

美術講演会 「後藤純男と戦後日本画」

[講師] 草薙奈津子(平塚市美術館館長)
[日時] 令和元年11月16日(土) 14:00~15:30
[会場] 千葉県立美術館 講堂 [定員] 180名
聴講無料、先着順(当日13:30から受付)

ワークショップ 「もこもこもりあげ!いわえのぐ」

日本画の岩絵の具をつかって、絵を描きます。もりあげの技法でかんたんプロ級のワザに挑戦します。
[日時] 令和元年12月14日(土) 13:00~15:30
[講師] 早川実希(日本画家)、森永悠太(日本画家)
[対象] 小学生
[定員] 20名(応募多数の場合は抽選)
[参加費] 1000円
[場所] 千葉県立美術館 アトリエ棟
事前申込み締切 11月27日(水)

● **申込方法**
往復はがき、またはFAX、Eメールに下記①~⑥をご記入ください。
① イベント名 ② 氏名(ふりがな) ③ 住所
④ 連絡先(電話番号、Eメールアドレスなど)
⑤ 学校名 ⑥ 学年

● **申込先**
《往復はがき》〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1
《FAX》043-241-7880
《Eメール》art-workshop@chiba-muse.or.jp
いずれも「千葉県立美術館ワークショップ係」宛にお送りください。

学芸員によるギャラリートーク
会期中、毎週日曜日 13:30~
参加無料(入場料は必要)、事前申込み不要



● **交通案内**
【電車・モノレール】 JR京葉線または千葉都市モノレール「千葉みなと」駅下車徒歩約10分
【バス】 JR総武線「千葉」駅西口26番のりば 千葉みなとループバス(タワークース)「千葉ポートタワー」行 「県立美術館入口(千葉みなとリハビリ病院)」下車徒歩約3分
【自動車】 東京方面から 東関東自動車道「湾岸習志野」J.I.C.
成田方面から 京葉道路「穴川」J.I.C.
東金方面から 千葉東金道路「千葉東」J.I.C.
館山方面から 京葉道路「松ヶ丘」J.I.C.からそれぞれ約20分
※駐車場無料(78台うち2台障害者用)